

ULTRATECT[®] CR

(CRACK REPAIR METHOD)

ウルトラテクト CR ひび割れ工法

コンクリート構造物の止水、エフロ抑制などの優れた改質効果



ULTRATECT[®] CR

(CRACK REPAIR METHOD)

ウルトラテクトCR ひび割れ工法[クラック注入]

ウルトラテクトCR-ひび割れ工法は、超微粒子パウダー+無機顔料(黒色)と、特殊専用樹脂(特殊ポリマーエマルジョン)で構成されたクラック充填材およびコンクリート素地の表面被覆材です。

コンクリート構造物の維持・補修においてクラック進行拡大抑制と剥離防止、美装を兼ねる効果があります。

コンクリートとの接着性が高いウルトラテクトHPをベースに用いることで、仕上げ層とひび割れ箇所の既設コンクリートとの一体化性が向上し、プラスチック乾燥収縮ひび割れや剥離・剥落を予防できます。ひび割れ部分に起因するコンクリート構造物内部の遊離石灰抑制や漏水止水においても長期的な再発防止効果を発揮します。

施工フロー

- ① 準備**
 - ・温度確認 5℃以上45℃以下
 - ・塗布対象面以外の周辺のガラス・アルミ・化粧タイルなどを養生。
- ② 下地処理・清掃・洗浄**
 - ・塗布面に顕著な汚れがある場合には高圧洗浄またはケレン等で除去。
※洗浄に際して酸性洗剤を使用した場合には、必ず中和処理を行ってください。
- ③ ウルトラテクトHP注入・塗布**
 - ・ローラー、刷毛、スプレーなどを用い、塗装面全面にウルトラテクトHPを塗布。特にクラック箇所は重点的にウルトラテクトHPを注入充填・塗布してください。
塗布量の目安は200cc-250cc/m²
- ④ 養生**
 - ・ウルトラテクトHP塗布後は自然養生を原則とするが、環境によっては加温養生を行ってください。
- ⑤ 注入・被覆材配合**
 - ・材料の配合を行う。
■クラック注入配合 パウダーA(超微粒子セメント)1kg:特殊専用樹脂B(半液状)200g:水800cc前後:無機黒顔料(適量)の割合でミキサーにて混合

※ウルトラテクトひび割れ工法塗布前に色調整を行ってください。色が薄い場合には顔料を適宜増量してください。
- ⑥ 注入・被覆材塗装**
 - ・クラック注入は注射器を使用するか、もしくはゴムベラ等で摺り込むように注入してください(2回以上注入)。
・表面被覆の場合にはローラーもしくは金ゴテにて塗布してください。
ウルトラテクトCRひび割れ工法塗布後に、ウルトラテクトHPまたはウルトラテクトWR*を全面塗布することで構造物の保護効果がさらに高まります。

*外部補修の際はウルトラテクトWRを塗布してください。ただし、ひび割れ箇所より著しい水の流出が見られる場合は施工不可。

特長

ウルトラテクトCR(クラック注入・表面被覆工法)の特長

- ・ひび割れ追従性に優れたウルトラテクトHPを下地コンクリートに塗布することにより、クラックの進行拡大抑制や再発防止に効果的です。
- ・アルカリ骨材反応や凍結融解による劣化、白華(エフロ)現象の防止および再発防止として極めて有効な工法です。
- ・ウルトラテクトCR ひび割れ工法に含まれるフライアッシュセメントにより遮塩性が高まるため、沿岸地域や埋立地など塩化物イオン濃度の高い環境での施工にも適しています。
- ・ウルトラテクトCRひび割れ工法は超微粒子成分のため、既設のコンクリートとの親和性が高く、表面に生じたひび割れや色ムラをしっかりとカバーします。
- ・ウルトラテクトCRひび割れ工法用特殊専用樹脂は調合済の液状タイプのため、現場での配合作業も簡単にスムーズに行えます。
- ・膨張、収縮、熱応力の少ない硬化体および塗装面を形成します。耐候性や耐久性にすぐれ、安全性にもすぐれた環境に優しい材料を用いた工法です。

製造元

(株)MICC TEC
www.ultratect.net



製品荷姿